

見守り 新鮮情報



少しづつ ゆっくりとかんで、 餅での窒息事故を防止!

事例1　自宅で餅を 食べていた

ところ、のどに詰まらせた。苦しがって数分で意識を失い、救急車を呼んだ。救急隊により餅は取り除かれたが、死亡した。　(80歳代)

事例2

朝食に食べた餅がのどに詰まり、反応がなくなった。

家族が救急車を呼び、口の中から餅を取り出した。救急隊が到着した時は、呼吸はできていたが異物が残っていたため取り除いた。病院に到着した時には意識が回復し、他に異常がないことが確認されたため、帰宅となった。　(80歳代)

ひとこと助言

周りの人も見守って!



高齢になると、かむ力や飲み込む力が弱くなるため、特に餅を食べる機会が増える年末年始は、以下の点に注意して窒息事故を防ぎましょう。

- 餅を食べやすい大きさに小さく切っておきましょう。
- あらかじめお茶や汁物を飲んでのどを潤しておきましょう。
- ゆっくりとよくかんで、唾液とよく混ぜ合わせてから飲み込みましょう。
- 高齢者と一緒に食事をする際は、少しづつ口に入れているか、しっかりとかんでいるかなど食事の様子に注意を払い、見守りましょう。